

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [経営全般](#) | [「円」の歴史](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

「円」の歴史

日本が自分の国の通貨に「円」という名前をつけたのは、1871年（明治4年）でした。明治政府は「円」を誕生させたとき、1ドル=1円と決めました。それが1897年になると1ドル=2円に改められています。その後も少しずつ円安の方向に変えられて、第二次世界大戦の始まる直前のレートは1ドル=4円25銭でした。

戦争で日本経済はめっちゃめちゃになりましたが、戦後1949年（昭和24年）になって、日本を占領していた連合国軍が1ドル=360円にするよう命令を出しました。ここから1ドル=360円の時代が22年間も続くのです。

1ドル=360円の時代が終わったのは、1971年（昭和46年）のことでした。この年の8月、アメリカのニクソン大統領は突然「金本位制をやめる」と発表したのです。それまではドルをアメリカの中央銀行に持っていき、1トロイオンス（約3.1グラム）の金を35ドルで売ってくれました。これが金本位制で、ドルの価値を落とさないための方法でした。しかしアメリカは貿易で大赤字を出し続けて、この制度を続けられなくなってしまったのです。

1972年から73年にかけて、各国は変動相場制という新しい方式を採用します。日本も73年2月に変動相場制へ移行しました。1ドル=360円というふうに、あらかじめ通貨の交換レートを決めておくやり方を固定相場制といいます。もし360円で輸出が伸びすぎたり、輸入品の価格が高くなりすぎた場合には、このレートを変更して調整すればいいと考えたわけです。これに対して変動相場制というのは、外国為替市場に集まってくる需要と供給にレートを決めさせてしまう方法です。輸出が伸びてドルがたくさん市場に出されれば、ドルは下がり、円は上がります。こうして自然に輸出は抑えられるという考え方です。

円の値段も73年からは、ずいぶん大きく動いています。95年の4月には1ドル=79円75銭という戦後最も高いレートを記録しました。円相場を決める要因は複雑になっており、単に貿易の黒字や赤字だけで動くことはなくなりつつあります。マネーゲームが蔓延し、実体経済を脅かしています。金融緩和により大量の紙幣が世界を埋め尽くしています。さてこれからの時代、中央銀行の信用が弱っていったとしたら、どんな世の中になっていくのでしょうか？

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.